

尼崎西南部の昆虫（その1）

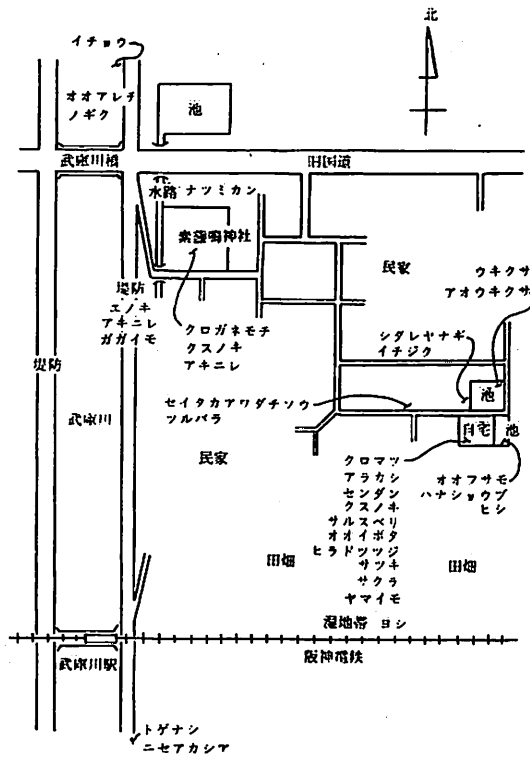
新 家 勝

I はじめに

約40年も前のデータであるが、昔の県下の昆虫相の一端を示す記録になると思うので、報告させていただきます。

筆者は1939年～1950年（昭和14年～25年）の間、現在の尼崎市大庄西町1丁目に住み、小中学生の頃の楽しみとして、付近の昆虫を採集し、約500種の標本を保有していた。その後の保管不良による破損や虫食い、水害、封入標本化の失敗のため多くの標本を失い、172種を保有するのみとなっているが、これら残存標本、ノートにある記録などを元に当時いた虫たちを紹介する。

1939年当時、武庫郡大庄村西であったこの地は、第二次大戦中の市町村合併により尼崎市西になり、近年の町名変更に伴い現在の町名になっている。筆者が住んでいたのは旧国道と阪神電鉄との間で、旧村落を中心に立て込んだ町家の外れ、田畑と接する新興地であった。初夏、サクラやシダレヤナギの枝を揺ると、ドウガネ、サクラ、ヒメサクラ、ヒメ、ハンノヒメ、コフキ、オオコフキなどのコガネムシが、地面一面に降ってきた、スイカの皮を捨てると、シロテンハナムグリでまっくらになった。どの池や田にも必ずギンヤンマがいた。秋、民家の垣根沿いに栽植されていたセイタカアワダチソウには、ハナアブ、オオハナアブ、シマハナアブなどのほか、アカ、ヒメ、キなどのタテハや時にはヒョウモン類も訪れ。「宮さん」さ呼ばれる素蓋鳴神社は魅力ある昆虫の住家でタマムシ、ゴマダラチョウ、シンジュサンなどがいたものである。改修工事が完成して立派に構築された武庫川堤防は、地元の人たちから「山」と呼ばれ、日当りのよい斜面の草地にはキアゲハが舞い、裾を流れる水路にはハグロトンボが多産した。この水路は、旧国道の北側にある池から湧出する武庫川の伏流水を導くもので、オニヤンマがときどき訪れた。住宅近くの池には、ヒシ、ウキクサ、アオウキクサ、外来品のオオフサモが生え、既にウシガエルやライギョが繁殖していた。池には新興住宅の下水が流れ込んでおり、やがて汚染のため魚たちが浮き上る池になって行った。筆者の家は二つの池に面しており、庭にはクロマツ、アラカシ、クスノキ、サルスベリ、オオイボタ、サツキ、ヒラドツツジ、サクラ、センダンなどの木々とハナショウブが栽植されていたので、いながらにして昆虫採集ができた。図にはこの地域の概略など採集と観察の背景を示している。



II Hemiptera 半翅目

1 Pentatomidae カメムシ科

(1) *Eucorysases grandis* Thunberg オオキンカメムシ

1944. 9. 13

1頭を一度採集したのみ。本種がよく発生するといわれるアブラギリを、この地域で見たことはなく、近くの武蔵川にはヤブツバキの自生もなかったもので、他所からたまたま飛来したものであろう。ホソヘリ、オオクモヘリなどがいた記憶はある。ヒメジュウジナガカメについては第10巻第1号のとおり。

2 Belostomatidae タガメ科

(1) *Lethocerus deyrollei* Vuillefroy タガメ

1946. 5. 10

現在、各地で絶滅を心配されているが、当時は平地の池や田に普通にいた。

(2) *Ranatra chinensis* Mayer ミズカマキリ

1946. 5. 19

タイコウチ、コオイムシも多くいた、。ヒシの葉やウキクサ、アオウキクサが、べこべこ上下しているところには、必ずコオイムシがいた。

3 Cicadidae セミ科

(1) *Cryptotympana japonensis* Kato クマゼミ

1947. 8. 16 1♂

1947. 8. 20 1♂

(2) *Graptopsaltria nigrofuscata* Motschulsky アブラゼミ

1947. 8. 9 1♂

(3) *Platypleura kaempferi* Fabricius ニイニイゼミ

1942. 6. 29 1♀

1943. 7. 11 1♂

(4) *Meimuna opalifera* Walker ツクツクホウシ

1946. 9. 5 1♂

1946. 9. 5 1♀

III Diptera 双翔目

双翔目は結構多く産したが、子供には今一つ魅力に欠けていたため、多少なりとも特色の感じられるものしか採集していなかった。そのうえ、保管不良のため失ったものが多く、僅か10種類の標本しか残っていない。

1. Bibionidae ケバエ科

(1) *Bibio tenebrosus* Coquillett ハグロケバエ

1947. 5. 2 1♂、1♀

例年5月初旬頃、庭のクロマツの梢付近を群飛し、時々、地上におりて来た。

(2) *Bibio rufiventris* Duda メスアケバエ

1947. 5. 2 1♀

2. Stratiomyidae ミズアブ科

(1) *Eulalia garatas* Walker コガタノミズアブ

1946. 6. 30

多産したミズアブに比べて、はるかに少なかった。これらが水田やその周囲の草むらにいたのに対し、ルリミズアブは植込みの葉上に普通に見られた。コウカアブは民家の便所やごみ捨場などに多産し、「便所蜂」と呼んで嫌われていた。

(2) *Microchrysa flaviventris* Wiedmann ハラキンミズアブ

1947. 6. 6

3. Tabanidae アブ科

(1) *Chrysops japonicus* Wiedemann クロメクラアブ

1946. 4. 21

4月の中頃から5月の始め、屋外で遊んでいると突然、首筋を刺された。牛馬が飼われていたため、ウシアブや小型で灰褐色のものも普通にいたが、こちらは羽音をたてて近づくので刺されることはなかった。

4. Bombyliidae ツリアブ科

(1) *Hyperalonia tantalus* Fabricius クロバネツリアブ

1946. 7. 19

(2) *Hyperalonia similis* Coquillett マエグロツリアブ

1950. 7. 25

(3) *Anthrax aygulus* Fabricius コウヤツリアブ

1946. 7. 26

5. Asilidae ムシヒキアブ科

(1) *Leptogaster trimucronotata* Hermann アメイロムシヒキ

1947. 8. 19 2 EA

背の低い植木の陰や緑の下近くなどを時々飛んでいた。この科では、シオヤアブは多く、アオメアブも普通にいた。

6. Dolichopodidae アシナガバエ科

(1) *Dolichopus nitidus* Fallén アシナガキンバエ

1946.7.5、1946.7.6

7. Syrphidae ハナアブ科

ハナアブ、オオハナアブ、アシフトハナアブ、シマハナアブなどが多産し、オオイボタやセイタカアワダチソウの花によく集った。10月中旬頃、シロスジベッコウハナアブが時々セイタカアワダチソウの花を訪れ、澄みきった秋空に浮かんでいた。